

ゴム分析の基礎と応用

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 分析研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本レオロジー学会

(予定) 日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本複合材料学会、日本分析化学会、プラスチック成形加工学会、日本画像学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会(順不同)

ゴム分析の基礎についての総論の講義をふまえ、表面形態、ゴム劣化、質量分析法を各論として取り上げ、第一線の技術者による講演を設定しました。ポスター発表では、講演者とのディスカッションの時間も用意しました。多数の参加をお待ちいたします。

日時：2014年11月7日(金) 午前10時～午後4時40分

場所：東京電業会館 地下ホール 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL 03 (3403) 5181代

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます

シニア制度対象者 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。(定員50名)

送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。開催日が近づきましたら開催ご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第205回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)

FAX 03 (3401) 4143 TEL03 (3401) 2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp

演 題	講 師・座 長
10:00～10:10 開会のあいさつ	分析研究分科会主査 星 埜 由典
10:10～11:40 ゴムの組成分析基礎編 加硫ゴム、未架橋ゴムの基本的な組成分析フローの紹介と解析事例を含めた初心者向けの講義を行う。	【座長】キヤノン(株) 加藤久雄 日本ゼオン(株) 西原 智史氏
12:30～13:20 ゴムのナノ構造解析 ゴムの中の複雑な不均一構造を、分散・結合・界面の視点から可視化する分析解析技術について述べ、ゴムの架橋・補強・破壊に関する考察を深める。	【座長】三新化学工業(株) 寺田 直樹 住友ゴム工業(株) 土肥 英彦氏
13:20～14:10 加硫ゴムの定量的劣化分析法 加硫ゴムの劣化分析法、特に寿命予測の際に必須な定量的劣化分析法について解説する。	(一財)化学物質評価研究機構 仲山 和海氏
14:20～15:10 加硫剤・加硫促進剤の分析 加硫促進剤は加硫反応過程で、その大部分が分解するか別の化合物に変化する。本テーマではFT-IR、GC/MS、DART-TOFMS等を用いた加硫促進剤の分析について紹介する。	NOK(株) 竹井 千香子氏
15:30～16:30 【ポスター発表形式/ゴム分析Q&Aコーナー】 1) 表面形態解析 住友ゴム工業(株) 土肥 英彦氏 2) 劣化解析 (一財)化学物質評価研究機構 仲山 和海氏 3) 質量分析 NOK(株) 竹井千香子氏 4) Q&A 分析研究分科会メンバー	【座長】協和界面科学(株) 星 埜 由典
午後の講演の補足説明、講演者への質問など役に立つ情報が得られます。また、ゴム分析で困ったことも分析研究分科会メンバーが答えます。	
16:30～16:40 閉会のあいさつ	分析研究分科会副主査 加藤 久雄

※プログラムは一部変更になる可能性がございます。

☆お申込みは弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。